

横浜市感染症発生動向調査報告 4月

《今月のトピックス》

- 新型コロナウイルス感染症の報告が続いています。
- 麻しん検査診断例の報告が1件ありました。
- 感染性胃腸炎の報告が例年と比べて減少しています。

◇ 全数把握の対象

〈4月期に報告された全数把握疾患〉

腸管出血性大腸菌感染症	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	3件
E型肝炎	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	3件
レジオネラ症	2件	梅毒	7件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1件	麻しん	1件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件	—	—

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O不明(無症状病原体保有者)の報告が1件ありました。
- 2 E型肝炎: 経口感染と推定される報告が1件ありました。
- 3 レジオネラ症: 肺炎型1件、ポンティアック熱型1件の報告がありました。
- 4 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 1件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 5 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 60歳代のG群の報告が1件ありました。
- 6 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む): AIDSの報告が2件、無症状病原体保有者の報告が1件ありました。いずれも男性で、感染経路は性的接触(同性間2件、同性間及び異性間1件)でした。
- 7 侵襲性肺炎球菌感染症: 10歳未満の報告が1件(ワクチン接種歴4回あり)、60歳代の報告が2件(いずれもワクチン接種歴なし)ありました。
- 8 梅毒: 7件報告(無症状病原体保有者3件、早期顕症梅毒Ⅰ期2件、早期顕症梅毒Ⅱ期1件、晩期顕症梅毒1件)がありました。感染経路は異性間性的接触4件、不明3件、性別は男性4件、女性3件でした。
- 9 麻しん: 感染経路感染地域等不明の10歳未満検査診断例1件(ワクチン接種歴1回)の報告がありました。

◇ 指定感染症

新型コロナウイルス感染症の報告数は神奈川県にて集約されています。
神奈川県衛生研究所ホームページをご参照ください。

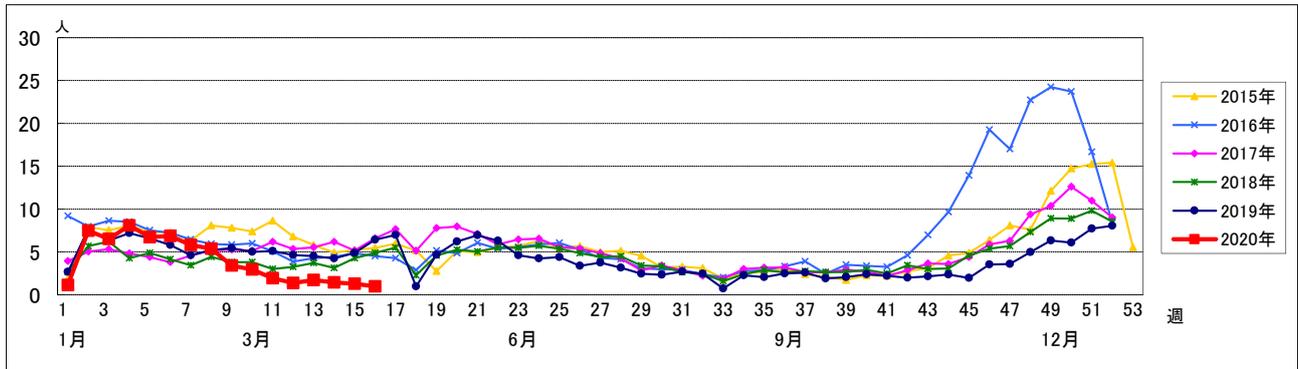
神奈川県衛生研究所感染症情報センター

http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/003_center/03_center_main.htm

◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第13週	3月23日～3月29日
第14週	3月30日～4月5日
第15週	4月6日～4月12日
第16週	4月13日～4月19日

1 感染性胃腸炎: 冬季に入って報告数が増加し第4週は8.08となっていました、その後減少し、第16週は0.96と少ない状況となっています。



2 性感染症(3月)

性器クラミジア感染症	男性:30件	女性:25件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:7件	女性:8件
尖圭コンジローマ	男性:1件	女性:4件	淋菌感染症	男性:17件	女性:1件

3 基幹定点週報

	第13週	第14週	第15週	第16週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.67	0.33	1.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.33

4 基幹定点月報(3月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	4件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

3月23日から4月19日までに病原体定点から搬入された検体は、小児科定点22件、内科定点4件、基幹定点1件、眼科定点1件で、定点外医療機関からは1件でした。

ウイルス分離2株とライノウイルス遺伝子5件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果4月期(2020年第13週~2020年第16週)

分離・検出ウイルス	主な臨床症状	
	上気道炎	下気道炎
アデノ2型	1	
アデノ3型		1
ライノ	3	2
合計	1 3	1 2

上段:ウイルス分離数

下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

4月期(2020年第13週～2020年第16週)の「菌株同定」依頼は、基幹定点から劇症型溶血性レンサ球菌1件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌1件、サルモネラ属菌1件、大腸菌1件。非定点からはNTM(非結核性抗酸菌)1件、劇症型溶血性レンサ球菌1件の検査依頼がありました。

保健所からは、パラチフス2件、侵襲性インフルエンザ菌1件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌1件の依頼がありました。

「分離同定」に関しては、保健所からレジオネラ1件の検査依頼がありました。

小児科定点からは、A群溶血性レンサ球菌4件の検査依頼がありました。

表 感染症発生動向調査における病原体調査4月期(2020年第13週～2020年第16週)

菌株同定	項目	検体数	血清型等	
医療機関	劇症型溶血性レンサ球菌	1	A群溶血性レンサ球菌 TUT (1)	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	1	<i>Klebsiella aerogenes</i> (1)	
	サルモネラ属菌	1	<i>Salmonella</i> Manhattan (1)	
	大腸菌	1	<i>Escherichia coli</i> O6 (1)	
	NTM(非結核性抗酸菌)	1	<i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>Massiliense</i> (1)	
	劇症型溶血性レンサ球菌	1	G群溶血性レンサ球菌 (1)	
	パラチフス	2	<i>Salmonella</i> Paratyphi A (2)	
保健所	侵襲性インフルエンザ菌	1	<i>Haemophilus influenzae</i> UT (1)	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	1	<i>Enterobacter cloacae</i> (1)	
分離同定	材料	項目	検体数	同定、血清型等
保健所	喀痰	レジオネラ	1	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1)
小児サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌	4	T4(2)、T12(1)、TB3264 (1)	

【 微生物検査研究課 細菌担当 】